

# メキシコにおける新型コロナウイルス 感染拡大と経済への影響

2020年7月15日

日本貿易振興機構(ジェトロ)  
メキシコ事務所  
稲葉 公彦

# 感染状況(最新データ)

- **累計感染確認者数: 311,486人**
- **累計死亡者数: 36,327人**
- **アクティブ患者数: 29,329人**
- **感染疑義者数: 80,721人**

(出所) 7月14日のメキシコ保健省発表データ。

# 感染状況(過去24日間)

## ＜メキシコ全国の感染状況＞

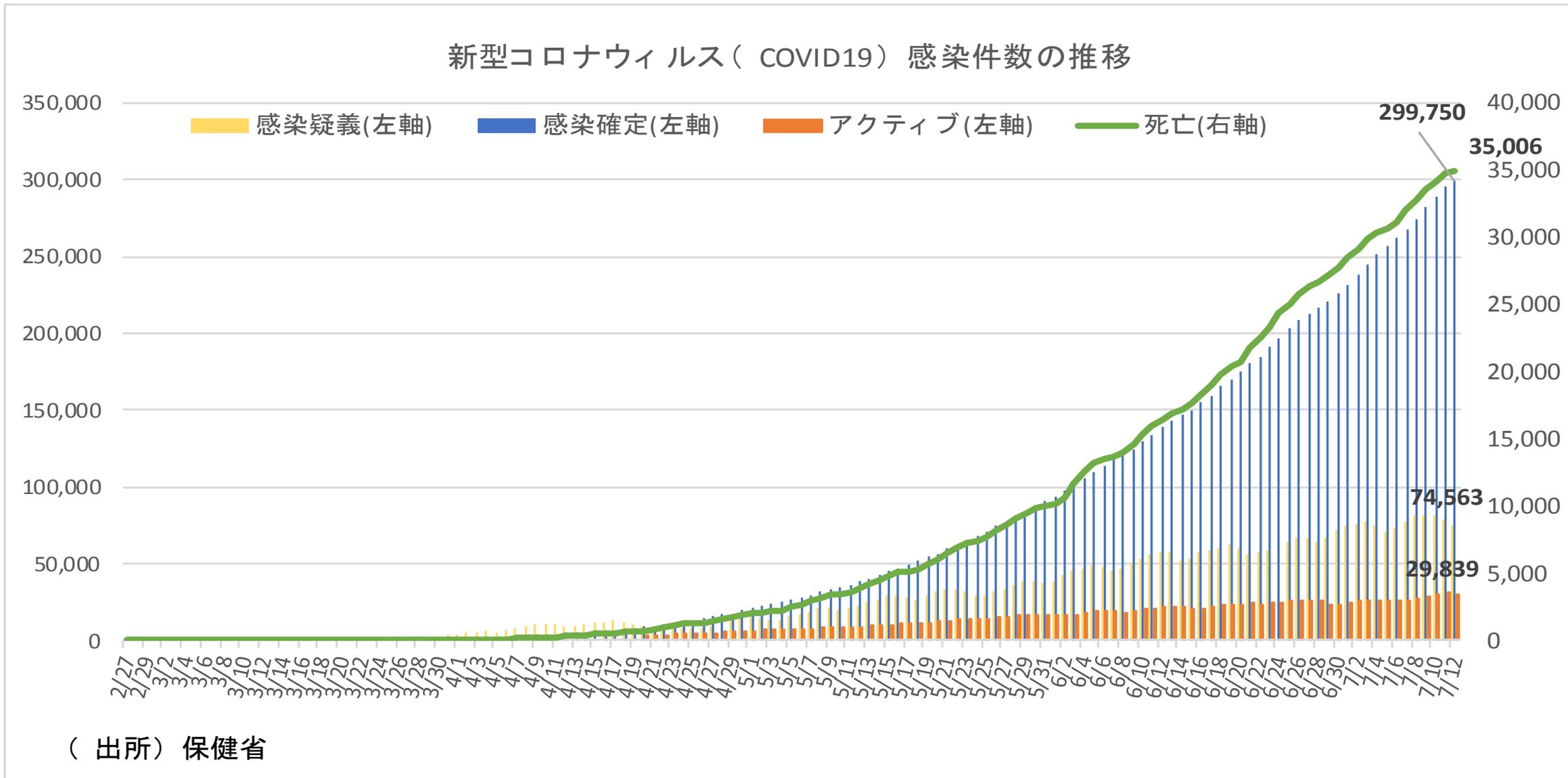
(単位:人)

	6月21日	6月22日	6月23日	6月24日	6月25日	6月26日	6月27日	6月28日	6月29日	6月30日	7月1日	7月2日	7月3日	7月4日
累計感染確認者数	180,545	185,122	191,140	196,847	202,951	208,392	212,802	216,852	220,657	226,089	231,770	238,511	245,251	252,165
1日当たり増加数	5,343	4,577	6,018	5,707	6,104	5,441	4,410	4,050	3,805	5,432	5,681	6,741	6,740	6,914
移動平均・14日間	4,532	4,644	4,774	4,833	4,927	4,943	5,008	5,001	5,028	5,088	5,141	5,218	5,340	5,497
累計死亡者数	21,825	22,584	23,377	24,324	25,060	25,779	26,381	26,648	27,121	27,769	28,510	29,189	29,843	30,366
1日当たり増加数	1,044	759	793	947	736	719	602	267	473	648	741	679	654	523
	7月5日	7月6日	7月7日	7月8日	7月9日	7月10日	7月11日	7月12日	7月13日	7月14日	7月15日	7月16日	7月17日	7月18日
累計感染確認者数	256,848	261,750	268,008	275,003	282,283	289,174	295,268	299,750	304,435	311,486				
1日当たり増加数	4,683	4,902	6,258	6,995	7,280	6,891	6,094	4,482	4,685	7,051				
移動平均・14日間	5,450	5,473	5,491	5,583	5,667	5,770	5,890	5,921	5,984	6,100				
累計死亡者数	30,639	31,119	32,014	32,796	33,526	34,191	34,730	35,006	35,491	36,327				
1日当たり増加数	273	480	895	782	730	665	539	276	485	836				

(出所) メキシコ保健省の発表に基づきジェトロで編集。

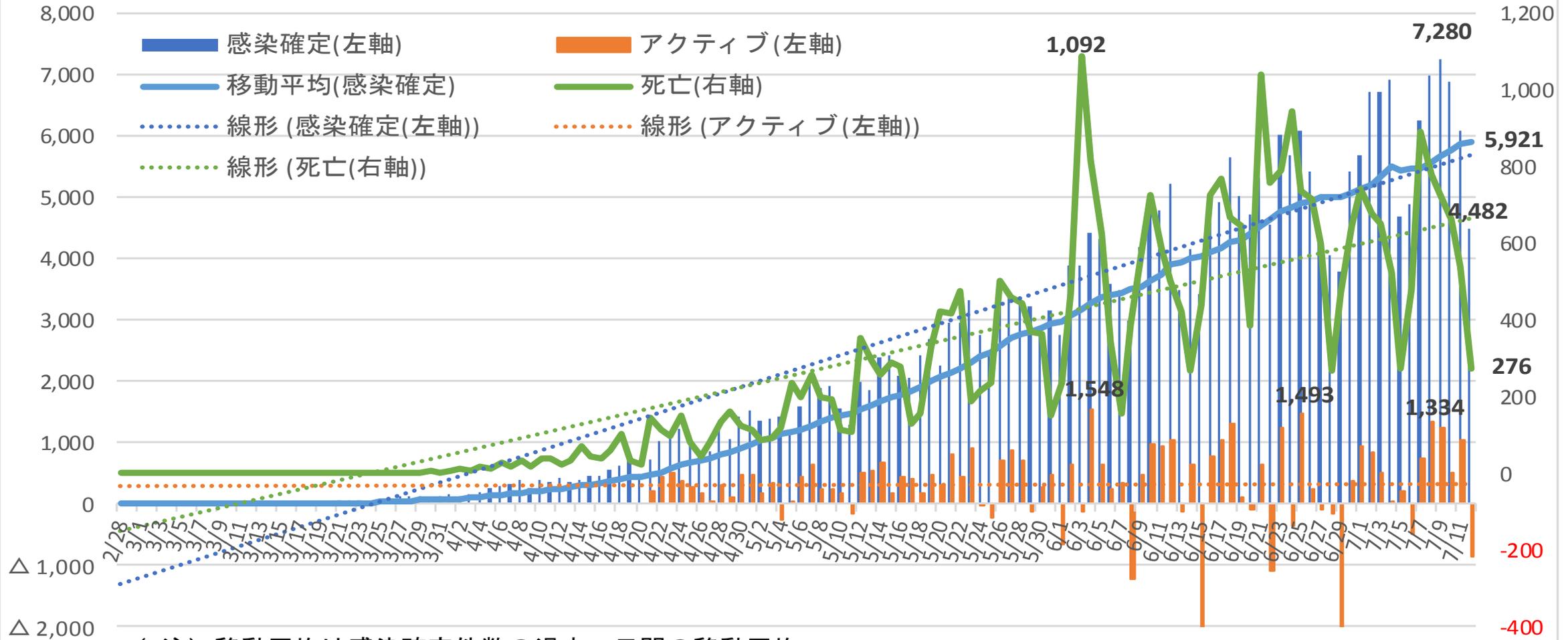
- 累計感染確認者数の1日当たりの増加数は7月9日の7,280人がこれまでの最多。
- 移動平均(過去14日間)では、7月14日の6,100人がこれまでの最多。
  - 感染者数は現在も増加傾向が続いている。
  - 保健省は現在の感染の高水準を認めているが、ピークとは言っていない。
  - 保健省は「封じ込め」ができなかったことを認め、「ウィズ・コロナ」を前提とする。
- 累計死亡者数の1日当たりの増加数は、6月3日の1,092人がこれまでの最多。
  - 保健省は、脆弱な人達はすぐに通報するよう呼びかけ。重篤者対応を重視。

# COVID-19感染件数の推移



# 感染確認者数等の推移(1日当たり増加数)

## 新型コロナウイルス( COVID19) 感染件数の推移( 1日当たり)



( 注) 移動平均は感染確定件数の過去14日間の移動平均  
 ( 出所) 保健省

# メキシコシティ感染状況(過去23日間)

## <メキシコシティの感染状況>

(単位:人)

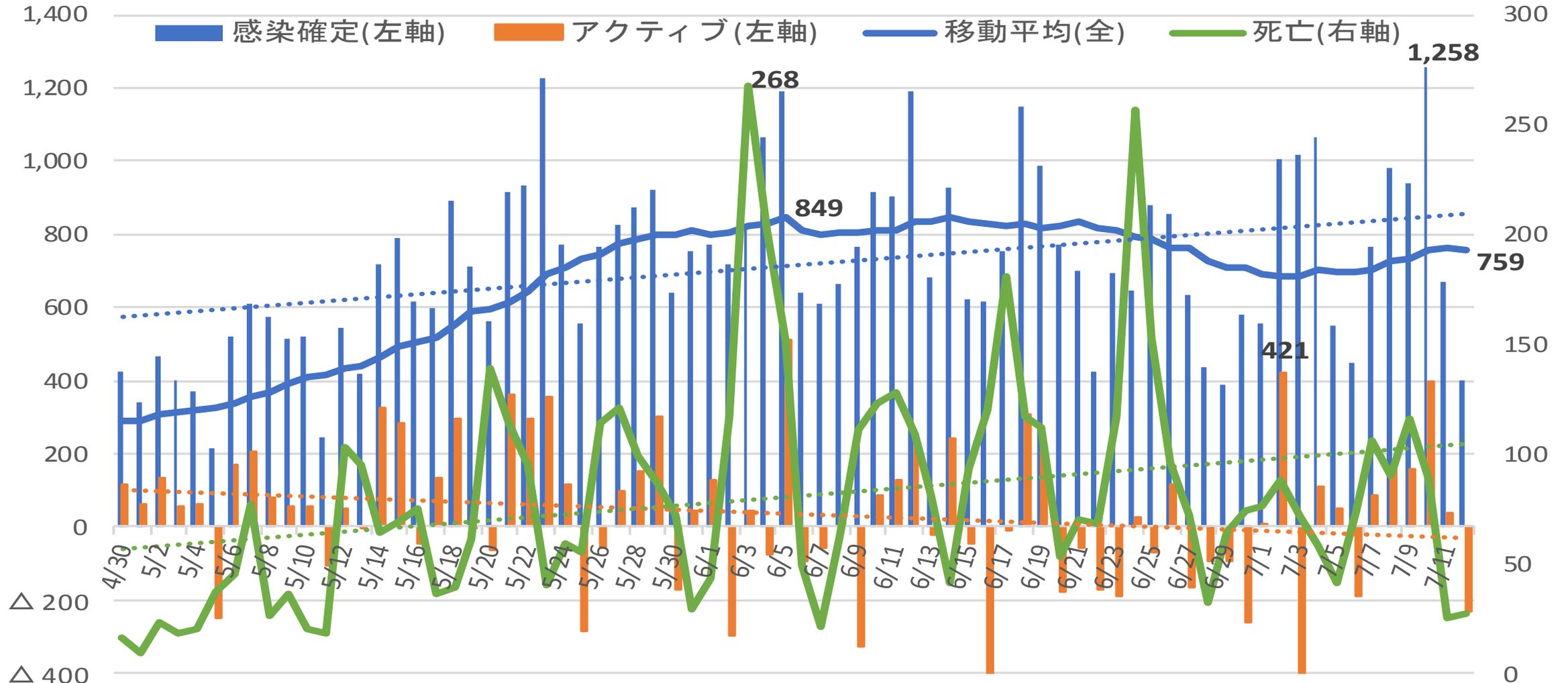
	6月21日	6月22日	6月23日	6月24日	6月25日	6月26日	6月27日	6月28日	6月29日	6月30日	7月1日	7月2日	7月3日	7月4日
累計感染確認者数	42,477	42,899	43,592	44,240	45,121	45,975	46,607	47,046	47,434	48,012	48,566	49,571	50,590	51,656
1日当たり増加数	701	422	693	648	881	854	632	439	388	578	554	1,005	1,019	1,066
移動平均・14日間	832	815	810	791	789	765	761	726	710	707	693	682	685	706
累計死亡者数	4,484	4,552	4,669	4,926	5,079	5,175	5,247	5,279	5,343	5,417	5,493	5,581	5,653	5,711
1日当たり増加数	70	68	117	257	153	96	72	32	64	74	76	88	72	58
	7月5日	7月6日	7月7日	7月8日	7月9日	7月10日	7月11日	7月12日	7月13日	7月14日	7月15日	7月16日	7月17日	7月18日
累計感染確認者数	52,209	52,655	53,423	54,405	55,344	56,602	57,271	57,674	58,114					
1日当たり増加数	553	446	768	982	939	1,258	669	403	440					
移動平均・14日間	695	697	702	726	730	759	762	759	763					
累計死亡者数	5,752	5,825	5,931	6,021	6,137	6,226	6,251	6,278	6,328					
1日当たり増加数	41	73	106	90	116	89	25	27	50					

(出所) メキシコ保健省の発表に基づきジェトロで編集。

- メキシコシティの累計感染者数は全国の19.1%。メキシコシティを取り巻くメキシコ州を加えると33.1%。
- 累計感染確認者数の1日当たりの増加数は7月10日の1,258人がこれまでの最多。
- 移動平均(過去14日間)のピークは6月5日の894人をピークに7月2日には682人まで減少したが、その後、反転し7月13日は763人。6月29日からの社会・経済活動の制限緩和が影響している。
  - メキシコシティ政府は市内地域別感染リスク地区を公表。感染防止対策の実施を働きかけ。
  - キオスクにおける検査などさまざまな対策も講じている。
- 累計死亡者数の1日当たりの増加数は、6月3日の268人がこれまでの最多。

# メキシコシティの1日当たり感染確定数

## 新型コロナウイルス（COVID19）感染件数の推移（1日当たり）



(注) 移動平均は感染確定件数の過去14日間の移動平均  
 (出所) 保健省

# 感染対策の経緯と警戒信号

- 2月27日 国内初の感染疑義者発生(0人)
- 2月28日 国内で3人の感染を確認(3人)
- 3月4日 メキシコ保健省、定例感染状況報告を開始(5人)
- 3月11日 世界保健機構がパンデミックを宣言(7人)
- 3月23日 健全な距離確保のための全国キャンペーン発表(367人)
- 3月30日 不可抗力の衛生上の非常事態を宣言(必要不可欠な社会・経済活動を停止、1,094人)
- 4月5日 大統領が新型コロナウイルス感染拡大の影響緩和に向けた経済対策を発表(2,143人)
- 4月22日 感染状況のフェーズ3入りを発表(10,544人)
- 5月13日 大統領が経済・社会活動の再開計画を発表(40,186人)
- 5月15日 保健省令で建設、鉱業、輸送機器製造が必要不可欠な社会・経済活動に加えられる。(45,032人)
- 6月1日 「新常態」に移行。新型コロナウイルス警戒信号に基づき、社会・経済活動を再開(93,435人)

(注)カッコ内の数値は累計感染確認者数。

＜新型コロナウイルス警戒信号に応じた経済・社会活動の制限＞

活動・措置	青(緑)	黄	橙	赤
労働(経済)活動	制限なし	すべての活動が可能。	一定の制限の下、不可欠な活動以外も可能。	不可欠な活動のみ可能。
公共スペースの利用(公園、博物館・美術館など)	制限なし	屋外活動は制限なし。屋内活動は一定の制限の下可能。	屋外活動は一定の制限の下可能。屋内活動は禁止。	禁止
感染症に脆弱な人々(高齢者等)の扱い	一定程度の配慮の下外出可能。	相応の配慮の下外出可能。	厳格な配慮の下外出可能。	外出禁止(自宅待機)
学校(教育活動)	許可(開校)	禁止(閉鎖)	禁止(閉鎖)	禁止(閉鎖)

(出所) 5月14日付官報公示保健省令及び5月13日付政府発表資料から作成。

＜現在の警戒信号(7月13～19日)＞

**赤信号(15州)**: バハカリフォルニア州、チアパス州、コリマ州、コアウイラ州、グアナフアト州、メキシコ州、ナジャリット州、ヌエボレオン州、プエブラ州、シナロア州、ソノラ州、タバスコ州、タマウリパス州、トラスカラ州、ベラクルス州

**橙信号(17州)**: アグアスカリエンテス州、カンペチェ州、南バハカリフォルニア州、チワワ州、メキシコ市、ドゥランゴ州、ゲレロ州、イダルゴ州、ハリスコ州、ミチョアカン州、モレロス州、オアハカ州、ケレタロ州、キンタナロー州、サンルイスポトシ州、ユカタン州、サカテカス州

# 主要州別のCOVID-19対応病床利用率推移

主要州別COVID-19対応病床の利用率推移

州	一般病床												人工呼吸器付病床											
	7/1	7/2	7/3	7/4	7/5	7/6	7/7	7/8	7/9	7/10	7/11	7/12	7/1	7/2	7/3	7/4	7/5	7/6	7/7	7/8	7/9	7/10	7/11	7/12
ヌエボレオン	58%	63%	62%	66%	74%	70%	70%	69%	73%	79%	77%	82%	43%	56%	53%	57%	57%	55%	53%	48%	52%	53%	56%	60%
グアナフアト	59%	60%	56%	57%	62%	62%	66%	65%	62%	62%	63%	60%	23%	23%	22%	22%	21%	20%	20%	19%	22%	20%	21%	22%
コアウイラ	52%	51%	54%	55%	56%	59%	60%	60%	53%	55%	53%	51%	28%	30%	24%	24%	25%	24%	27%	30%	28%	32%	31%	31%
メキシコ市	61%	57%	56%	55%	56%	55%	55%	55%	54%	54%	52%	53%	49%	51%	53%	50%	52%	51%	51%	50%	47%	48%	50%	49%
メキシコ州	59%	58%	55%	57%	57%	57%	56%	55%	54%	51%	50%	50%	56%	54%	54%	53%	54%	52%	51%	51%	52%	53%	55%	55%
タマウリパス	37%	39%	41%	42%	43%	44%	45%	44%	48%	49%	47%	46%	34%	33%	38%	37%	36%	37%	32%	31%	32%	39%	39%	35%
バハカリフォルニア	55%	53%	52%	54%	52%	49%	50%	54%	53%	47%	44%	43%	59%	62%	62%	61%	62%	63%	54%	52%	55%	58%	58%	56%
サンルイスポトシ	20%	21%	21%	22%	24%	25%	26%	26%	29%	28%	30%	28%	31%	29%	31%	30%	27%	29%	27%	31%	31%	38%	38%	40%
アグアスカリエンテス	26%	25%	27%	26%	24%	26%	28%	27%	28%	29%	26%	26%	29%	34%	29%	28%	29%	26%	30%	33%	33%	29%	27%	29%
ハリスコ	25%	23%	24%	24%	24%	23%	24%	23%	24%	25%	25%	25%	30%	29%	30%	29%	29%	28%	31%	29%	27%	26%	26%	27%
チワワ	20%	20%	23%	21%	20%	21%	21%	20%	20%	20%	21%	21%	20%	16%	16%	19%	17%	18%	15%	17%	16%	20%	22%	19%
ケレタロ	20%	20%	18%	17%	16%	17%	18%	19%	18%	22%	19%	19%	28%	29%	29%	32%	30%	32%	30%	31%	29%	28%	32%	35%
ザカテカス	21%	21%	23%	22%	21%	18%	20%	21%	21%	16%	17%	19%	18%	19%	17%	13%	15%	24%	23%	22%	24%	25%	27%	27%
全国	45%	44%	44%	44%	45%	45%	46%	45%	45%	45%	45%	45%	38%	39%	39%	38%	38%	38%	37%	37%	38%	38%	39%	39%

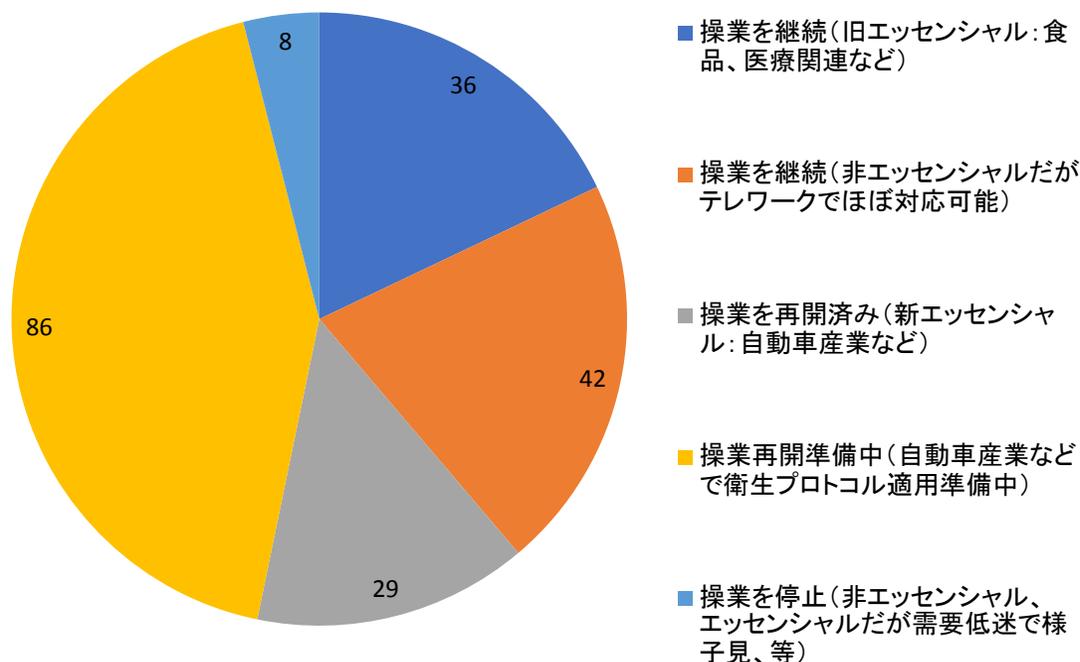
(出所) 保健省発表データから作成

- ◆ ここ数週間はヌエボレオン州、グアナフアト州などの利用率上昇が目立つ。
- ◆ 国防省(SEDENA)や海軍省(SEMAR)の病院もCOVID-19患者に開放されている。メキシコ市首都圏では双方とも一時的に一般病床は満室となったが、開放する病院の数を増やしたため、現時点では空きがある。

# 進出日系企業の操業状況

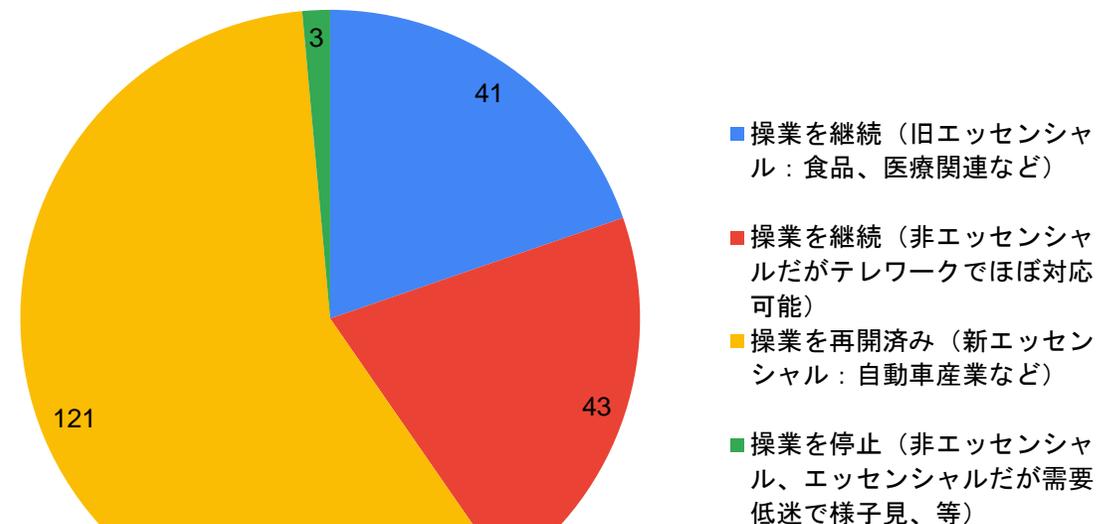
## ＜メキシコ日本商工会議所会員企業を対象とするアンケート＞

実施時期：5月21～25日



回答企業数：201社

実施時期：6月25～29日



回答企業数：208社

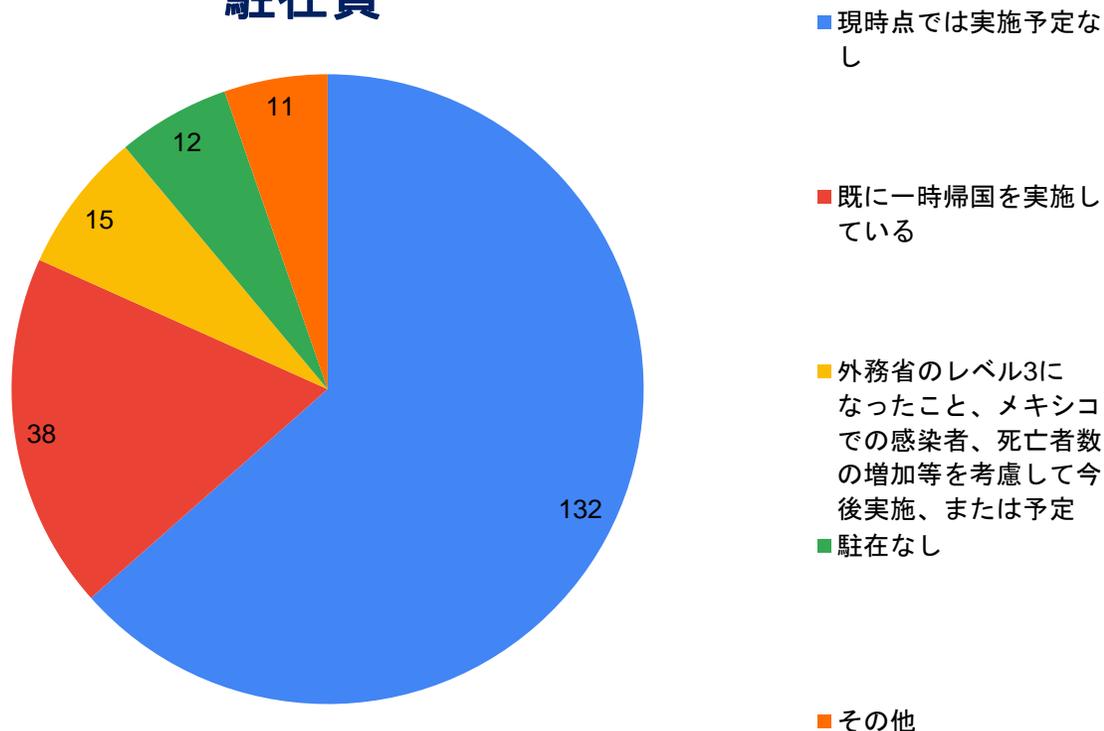
(出所) メキシコ・日本商工会議所とジェトロ・メキシコ事務所が共同実施したアンケート調査結果。

# 進出日系企業の国外退避状況

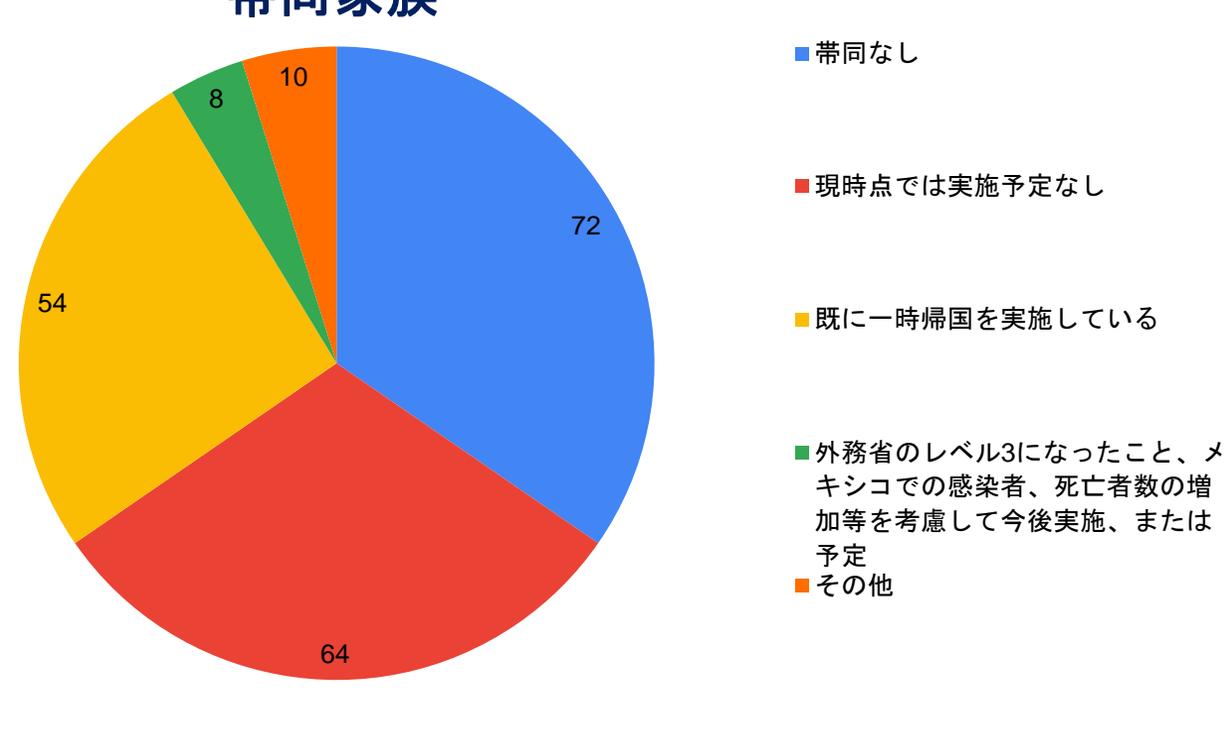
## ＜メキシコ日本商工会議所会員企業を対象とするアンケート＞

実施時期：6月25～29日

### 駐在員



### 帯同家族



回答企業数：208社

(出所) メキシコ・日本商工会議所とジェトロ・メキシコ事務所が共同実施したアンケート調査結果。

# 進出日系企業の課題とメキシコ政府への要望事項

## 進出日系企業が抱える課題

	製造業①	製造業②	非製造業	合計
需要縮小の問題(操業を再開したとしても十分な売上が確保できない見通し、等)	63	5	35	103
連邦政府の安全衛生指針への適用(プロトコル作成、チェックリストへの対応など)	54	4	38	96
操業再開後の労働者の取り扱い(テレワークを継続させる労働者の扱い、需要縮小や操業環境上の制約により一部の労働者を解雇せざるを得ない、等)	38	4	18	60
州政府の安全衛生指針への適用(同上)	28	5	26	59
資金繰りが厳しく、運転資金が足りない	26	1	13	40
従業員の中に感染者が出てしまい、感染者及び接触者の自宅待機要請の徹底と同期間の代替労働者の確保などに苦慮	10	2	3	15
現時点でもエッセンシャルな活動とみなされておらず、信号も赤なので操業できない	1	0	8	9
サプライチェーンに問題がある(サプライヤーが操業再開できていない、アジアや米国からの部材調達に問題がある、など)	4	0	2	6

## メキシコ政府への要望事項

政府への要望事項	回答企業数
雇用確保などを条件とした補助金の支給	117
休業中の従業員への給与支払いに対する補助	116
直接税や事業税の減免や支払い繰り延べ	103
社会保険負担金(IMSS)の減免や延滞金利を伴わない支払い繰り延べ	85
付加価値税還付の迅速化、ユニバーサル相殺の復活	73
消費活性化を目的とした間接税の一時的減免	71
政府系開発銀行などの利用しやすい低利融資制度、もしくは信用保証	16
エッセンシャルな活動と認定した上での操業許可	12

(注) 製造業①は自動車関連、製造業②は非自動車関連。回答企業数は208社で複数回答可。

(出所) メキシコ・日本商工会議所とジェトロ・メキシコ事務所が共同実施したアンケート調査結果。

# メキシコ経済への影響

## メキシコの実質国内総生産(GDP)の部門別増減率

(単位:%)

	2018年 通年	2019年 第1四半期	2019年 第2四半期	2019年 第3四半期	2019年 第4四半期	2019年 通年	2020年 第1四半期
実質国内総生産(GDP)	2.2	1.1	△ 1.1	△ 0.4	△ 0.7	△ 0.3	△ 1.4
第一次産業(農牧林水産業)	2.3	1.6	△ 1.2	1.9	△ 0.3	0.5	1.4
第二次産業(鉱工業・建設等)	0.5	△ 0.2	△ 3.0	△ 1.4	△ 2.0	△ 1.6	△ 2.9
鉱業	△ 5.6	△ 7.7	△ 7.8	△ 4.2	△ 0.3	△ 5.0	4.2
電気・ガス・水道	7.5	0.3	1.8	2.5	4.7	2.3	0.3
建設	0.5	△ 0.2	△ 7.0	△ 6.9	△ 5.7	△ 4.9	△ 8.2
製造業	1.9	2.1	△ 0.3	1.5	△ 1.5	0.5	△ 2.9
輸送機器製造	5.2	7.4	5.0	2.6	△ 6.9	2.0	△ 8.1
第三次産業(サービス業)	2.9	1.6	△ 0.3	△ 0.1	△ 0.2	0.2	△ 0.7
卸売業	3.6	△ 0.6	△ 5.1	△ 3.9	△ 5.8	△ 3.8	△ 4.4
小売業	2.6	3.0	2.4	3.2	3.1	2.9	0.8
運輸・郵便・倉庫	3.2	1.4	0.8	1.4	△ 0.5	0.8	△ 2.8
通信・マスメディア	5.3	0.2	△ 4.9	3.5	4.8	0.9	4.7
金融・保険	4.9	5.2	1.6	△ 5.8	△ 5.9	△ 1.2	△ 1.8
不動産・賃貸	1.7	1.6	1.0	0.9	1.3	1.2	1.0
専門サービス	1.9	8.5	△ 2.8	1.6	△ 0.6	1.7	△ 2.9
教育	0.5	1.2	△ 2.2	△ 1.9	△ 1.3	△ 1.1	△ 1.2
ホテル・レストラン	2.2	△ 1.9	1.8	0.7	3.1	0.9	△ 7.9
政府・行政	3.4	△ 3.1	△ 4.9	△ 1.9	0.4	△ 2.4	6.5
＜参考：四半期別前期比増減率＞							
実質国内総生産・季節調整済み	-	0.2	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.6	-	△ 1.2

2019年は  
マイナス  
成長

ロペス・オ  
ブドール  
政権発足  
以降、経  
済は停滞

4四半期  
連続のマ  
イナス成  
長

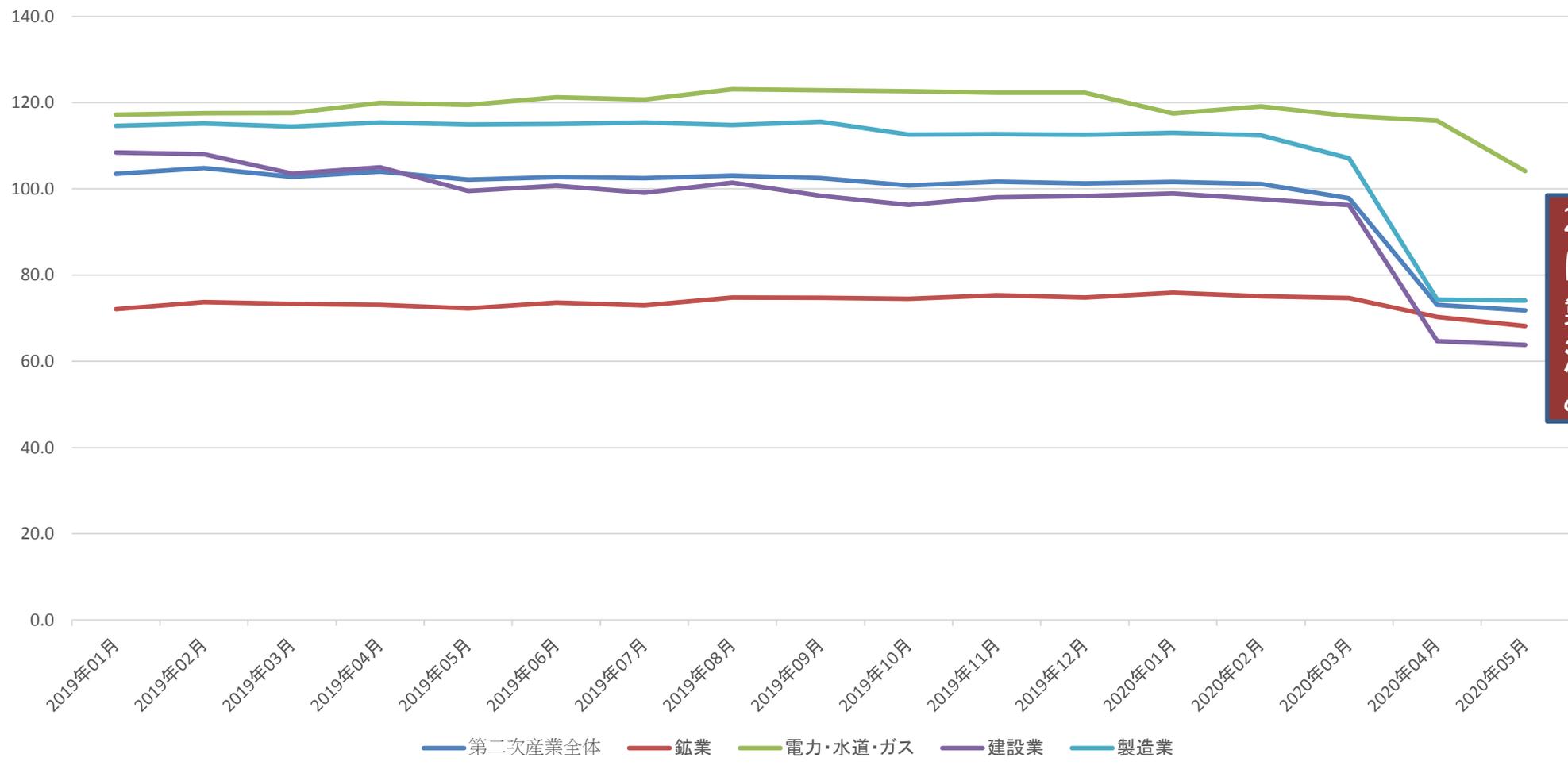
(注) 実質国内総生産(GDP)は2013年価格。サービス産業はウェートの大きいもののみ記載。

(出所) 国立統計地理情報院(INEGI)

# メキシコ経済への影響

## メキシコの第二次産業活動指数の推移

(単位:2013年を100とする指数)



2020年4月に建設業と製造業が急激な落ち込み

(出所) 国立統計地理情報院 (INEGI)

# メキシコ経済への影響

## 社会保険庁(IMSS)登録就業者・雇用主数の推移 (単位:人)

	社会保険庁登録就業者数		社会保険庁登録雇用主数	
	20,613,536	(前月末比増減)	1,005,347	(前月末比増減)
2020年2月末	20,613,536		1,005,347	
2020年3月末	20,482,943	△ 130,593	1,007,751	2,404
2020年4月末	19,927,696	△ 555,247	1,001,062	△ 6,689
2020年5月末	19,583,170	△ 344,526	997,767	△ 3,295
2020年6月末	19,499,859	△ 83,311	1,000,590	2,823

(出所) 社会保険庁(IMSS)のプレス発表資料からジェトロが編集。

## メキシコ中央銀行による民間金融・経済アナリストに対するアンケート結果にみる主要経済指標の見通し

(単位:経済成長率とインフレ率は%、為替レートは1ドル当たりペソ)														
<2019年>		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	実績
経済成長率	2019年	1.80	1.64	1.56	1.52	1.32	1.13	0.79	0.50	0.43	0.26	0.04	0.03	△ 0.3
	2020年	1.92	1.91	1.82	1.72	1.72	1.66	1.47	1.39	1.35	1.21	1.08	1.10	
インフレ率	2019年	3.85	3.67	3.65	3.66	3.75	3.63	3.62	3.31	3.08	2.96	2.93	2.92	2.83
	2020年	3.75	3.71	3.65	3.60	3.65	3.63	3.60	3.54	3.49	3.43	3.45	3.44	
為替レート	2019年	20.16	20.19	19.97	19.90	19.92	19.85	19.69	19.91	19.88	19.72	19.59	19.55	18.89
	2020年	20.39	20.56	20.26	20.34	20.41	20.27	20.08	20.38	20.36	20.17	20.09	20.10	
<2020年>		1月	2月	3月	4月	5月	6月	実績	実績に関する注					
経済成長率	2020年	1.00	0.91	△ 3.99	△ 7.27	△ 8.16	△ 8.97	△ 1.40	2020年第1四半期の前年同期比増減率					
	2021年	1.64	1.60	1.88	2.52	2.51	2.79							
インフレ率	2020年	3.50	3.52	3.75	2.83	3.04	3.31	3.33	2020年6月の前年同月比					
	2021年	3.52	3.53	3.61	3.51	3.46	3.55							
為替レート	2020年	19.68	19.57	22.27	23.36	23.30	22.78	22.44	6月14日の銀行間レート					
	2021年	20.14	20.00	21.96	23.03	23.00	22.78							

(注) データはアンケート結果の平均値。

(出所) Encuesta sobre las Expectativas de los Especialistas en Economía del Sector Privado, Banco de Méxicoの2019年1月から2020年6月のアンケート結果から筆者が編集。実績値は経済成長率とインフレ率が国立統計地理院(INEGI)、為替レートがメキシコ中央銀行。

Copyright (c)2020 JETRO. All rights reserved.

### <甚大な雇用への影響>

- ◆ 2020年3～6月の4カ月間に民間部門正規就業ポストが111万3,677減少
- ◆ 2020年4～5月の2カ月間に9,984の雇用主が廃業、あるいは倒産に追い込まれる。

- 経済成長率見通しは下方修正が続く。
- 消費者物価は低位で安定。高進の兆しなし。
- 為替レートは2020年3月5日までは19ペソ台だったが、その後急落し、3月23日には25ペソ台。しかし、その後戻しており、現在は22ペソ台。

# メキシコ経済への影響

## メキシコ中央銀行の経済見通し(2020年5月27日発表)

		2020年	2021年
経済成長率	早期V字回復パターン	△4.6%	4.0%
	深い落ち込みの後のV字回復パターン	△8.8%	4.1%
	深い落ち込みの後のU字回復パターン	△8.3%	△0.5%
インフレ率		3.5%	3.0%
貿易収支		△48億ドル～46億ドル	△72億ドル～45億ドル
(GDP比)		△0.5%～0.5%	△0.6%～0.5%
経常収支		△151億ドル～31億ドル	△205億ドル～△46億ドル
(GDP比)		△1.5%～△0.3%	△1.8%～△0.5%
社会保険庁登録労働者数の増減		△140万人～△80万人	△20万人～40万人

(注) インフレ率は2020年と2021年の第4四半期のデータの前年同期比増減率。

(出所) Informe Trimestral, enero - marzo 2020, Banco de México

- ◆ IMFの見通しはマイナス10.5%
- ◆ JPモーガンの見通しもマイナス10.5%
- ◆ これが現実になると、メキシコ革命最中の1914年の10.0%減を上回り、世界大恐慌下1932年の14.8%に次ぐ史上2番目の下落率となる。

- これまでの経済危機との大きな違いは為替下落とインフレ高進がないこと。
- 最大の不安は内需、外需の著しい縮小。
- 政府による需要創出が期待できないことがさらに先行きを曇らせる。

JETRO

¡¡ Muchas Gracias !!

JETRO Mexico

稲葉公彦

Tel: 55-5202-7900 (Ext.103)

[https://www.jetro.go.jp/world/cs\\_america/mx/](https://www.jetro.go.jp/world/cs_america/mx/)

【免責条項】本資料・セミナーで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本資料・セミナーで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。